

# シンプルなグリーンを読み方

～スロープレーにならずに、パッティングの精度を上げる方法～



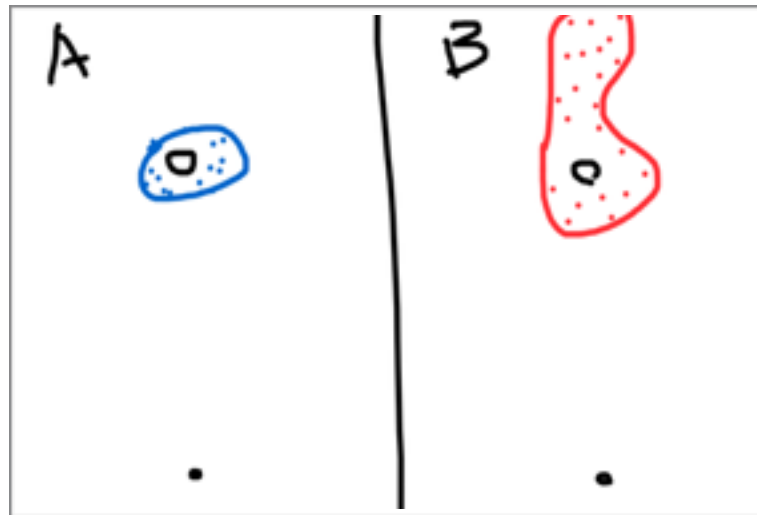
*Happiness is a long walk with a putter.*

パターを持って、長い距離を歩く時が、最も幸せだ

グレッグ・ノーマン



# ラインをつくるためには 「距離感と散らばり」を意識



100球打ちドリル（統計では43cmオーバーがカップイン率が最も高い）

ボールを打つ時に、「狙い過ぎて大オーバー」させないように  
ボールの散らばりの面積を小さくすることを意識しながら練習する。

→このときの、力感、グリップ、フォームが自分に一番合っています。

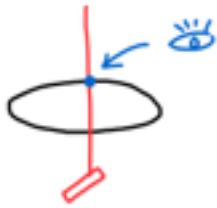
勝負所のパットほど「パンチが入りやすいので」  
握力を一定に保つことと、足元のバランスが重要です。

# 変則プラム・ボツピング

(インターネットには載っていない、独自の方法です)

## ステップ1

カップを利き目で見ます。※片目をつぶっても対象がズレない方の目です。



## ステップ2

パターのシャフトを鉛直方向 (重力に任せる)

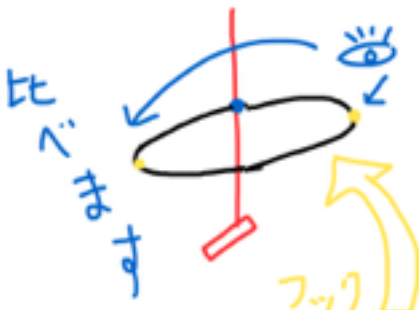
に垂らして、カップ上部の青い点にシャフトのサイドを合わせます。

※プラム・ボッピングとも言いますが、一般的なやり方では、

「どのくらい曲がるか」を知ることはできない。

by デイブ・ペルツ (ミケルソンのコーチ)

間違ったやり方をしている人が多いです。



## ステップ3

カップ上部の青い点を固定したまま、

シャフトを完全に鉛直方向に垂らす(赤い線)と、

カップの右端と左端(黄色い点)がズレて見えるので、

高い方から低い方に曲がります。

# 注意点:

- ・必ずカップに対して上りのラインで行うこと。

(両方から見る必要はないです。下りのラインの情報はパニックになる)

↓↓↓↓↓

青木功プロも

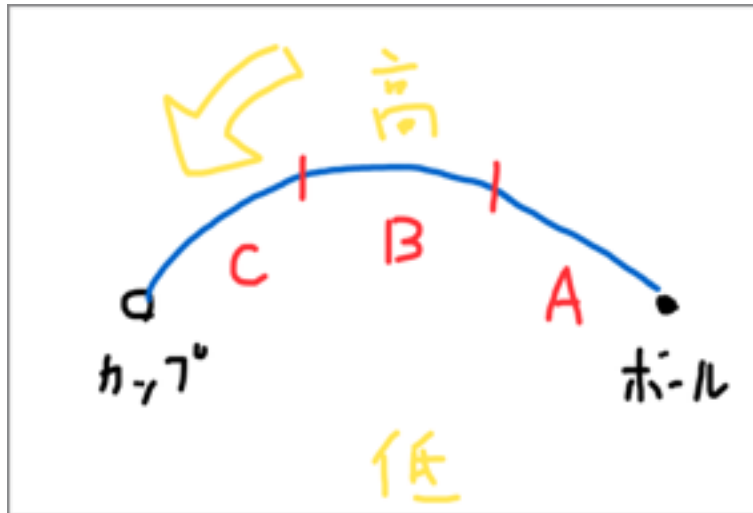
「男女プロがグリーン上で時間をかけるのは、  
それ以外の動作に無駄がないからであって、一般の人がプロと同様の動作をしてい  
ては、ゴルフが成り立たなくなる」

というように強く警告しています。

- ・基本的にカップの周りの傾斜しかわかりません。ただ...

# 途中のライン読み 「3分割法」

曲がり幅を読むには、  
カップ側から線を引きます。



Aゾーン:打ち出し直後の1/3

→大きな傾斜がない限り、**ほぼまっすぐ**転がる

Bゾーン:中間地点の1/3

→曲がり始める地点(曲がりの頂点よりも外側に打つ)

Cゾーン:カップに一番近い1/3

→**予想よりも大きく曲がる**と思った方が良いです。

## ★ヒント★

完全にラインを読み切ることは不可能です。

ただ、変則プラム・ボッピングを使うとカップ周りの曲がり幅が  
大体読めるようになります。

カップを時計の文字盤と見立てて、

例えばフックラインの時は、

最終的に5時から入るのか、

4時半から入るのか？

(傾斜がきつい場合はほぼ3時から入ることも……)

最終的に入る位置から逆算してラインを決めましょう。

# 努力目標^\_^

練習では

- ・タッチ(距離感)を磨くこと。数を打ちながら確率を高める意識。
- ・30cmから始めて完璧にまっすぐ打てる距離を  
10cm刻みで練習すること (2mが100%入ったら世界ランク1位)
- ・芯で打つ練習と、芯を外すのはどういう状況だと多いか知ること